

シグマ研究委員会
ドシメトリー積分テストWG議事概要

1. 日 時： 平成3年12月25日（水） 13:30～18:00
2. 場 所： 原研本部 第3会議室
3. 出席者： 中沢、井口（東大工）、岩崎（東北大工）、小林（京大炉）、池田（原研）
4. 配布資料：
 - DS-63 前回シグマ研究委員会ドシメトリー積分テストWG議事概要（井口）
 - DS-64 報告書 1. 序論 草稿の修正案（中沢）
 - DS-65 報告書 1. 序論 修正後の草稿案（中沢）
 - DS-66 報告書 2.1 修正後の草稿案（池田）
 - DS-67 報告書 2.2、3.1 修正後の草稿案（中川）
 - DS-68 報告書 3.2 修正後の草稿案（小林）
 - DS-69 報告書 3.3 修正後の草稿案（井口）
 - DS-70 報告書 4.1 修正後の草稿案（池田）
 - DS-71 報告書 4.2 修正後の草稿案（岩崎）
 - DS-72 報告書 5.1 修正後の草稿案（小林）
 - DS-73 報告書 5.2 修正後の草稿案（岩崎）
 - DS-74 報告書 参考文献リスト 修正後の案（中川）

5. 議事

(1) 前回議事録の確認および前回以降の経過報告など

前回の議事録が読み上げられ、確認した。その後、中沢委員長より、報告書作成の経過と作業の進捗状況について、次のような説明があった。報告書は当初 JAERI-M レポートとして印刷することを考えていたが、各方面からの要請もあって、JAERI レポートとして出版することになった。そのため、前回の会合後に提出して頂いた原稿が査読にまわることになり、原稿の仕上げとして予定していた会合が本日まで延びたことなどについて事情説明が行われた。

(2) 報告書原稿仕上げの作業

JAERI レポートとして出版することになった”JENDL Dosimetry File”の原稿案について、核データセンターより、各担当著者宛に返送されていた査読原稿について、査読者の意見を参考に、加筆・修正を加えた原稿を持ち寄り、報告書の目次の順に、言葉使いの統一などを中心に、それぞれの原稿の修正案について意見を交わしながら、最終原稿の仕上げ作業を行った。当日、再度修正が加えられた原稿を出版用草案として、各執筆担当者が分担してタイプを打ち直した上で、核データセンター宛に送付することとなった。その際、原稿の修正に伴って変更となる参考文献は勿論、文献番号の順番についても、各著者側で原稿と共に修正しておくことが望ましいとの意見が出された。

(3) 来年度の当WGの方針などについて

当WGの委員長として長年務めてこられた中沢正治教授（東大工）が、本年度限りで委員長の職を勇退されることになり、その後任として小林捷平委員（京大炉）が来年度の当WG委員長として選出された。

来年度の当WGの活動計画としては、このたび出版される”JENDL Dosimetry File”を利用者に大いに活用してもらえる方向で考えて行きたいこと、Neutron Dosimetryとしては、核分裂、核融合関連分野にこだわることなく、高いエネルギー領域でのドシメトリーにも目を向けて行きたいこと等が話し合われた。

以 上